



「これから皆さんに恩返しができるように、みんなで力を合わせて頑張っていきたいと思えます」とは、AKB48第一回選抜総選挙一位でセンターを奪取した前田敦子さんの言葉です。

SPCは、この半年で創立時の百人以上のメンバーが大きく入れ替わりました。全体的な人数は減りましたが、逆に毎日活動する隊員は増えました。赤グローブ隊員も現在は増えており、順調に坂本教頭のポケットマネーを減らしているようです。

さて、先月あたりから六年生隊員に、「集会をしたいです!」「隊長を決めようと思います!」「隊長希望が多いです!」「隊長の選挙をします!」「立会演説会をします!」

「立会演説会をします!」というように鼻息の荒い意欲みなぎる提案がなされ、顧問の我々は若干気圧されつつ了承しました。全くすごい子どもたちです。

そして先週の水曜日の昼休み、PC室で立会演説会は行われました。残念なことに、その時は校長室で仕事をしていて、行われていることに気づかなかったのです。ただ、遠くの歓声はかすかに聞こえていました。

私は演説会を逃したことを悔やむだけでなく、拗ねていじけ気味の五十五歳でしたが、隊長候補者たちからの、「昨日は校長先生がおられなかったので、今日の昼休みにもう一回やってもいいですか?」との申し出に目を潤ませて快諾。西南小は出来た子たちばかりなのです。演説会は十一月二十八・二十九日の二日にわたって行われました。

上写真の九名がセンター：ではなく、SPC隊長の座を目指し、各々熱のこもったスピーチを披露しました。緻密に原稿を練り上げてきた隊員、頭の中で言いたいことを整理し語って聞かせる隊員、一日目に行ったスピーチに納得いかず、二日目にやり直しを申し出る隊員、このときの校長室はいつになく熱かったです。

本日開票結果が出ました。子どもたちから言いだしたこととはいえ、選挙ですから当然当落があります。子どもたちに心構えを問いました。「大丈夫です!」と、力強い返しでした。

「だれかのためにを意識して、

がんばって掃除をしましょう!」

初代隊長、六年一組、緒方勇斗さんのメッセージです。前田敦子さんに勝るとも劣らない頼もしさです。↘



しかし、六年生の誰が隊長になっても間違いないなかなったと思っと思っています。なぜなら、みんな演説がすばらしかったからです。誠実かつ情熱的、はにかみながらもとにかく一生懸命な表情なのです。そして、雰囲気がいい。こんな上級生の背中を見て下級生は育ちます。選挙に参加した四年生の副隊長も、朝から一緒に作業をしている黄色い帽子の一年生も、彼らと一緒にいたくなるのでしょね。

「西南算数伝説」なるか?

昨日は熊本県学力・学習状況調査でした。西南小の子どもたちは苦手な算数を少しでも克服できたのか。また、我々は子どもたちに算数の学力を付けることが出来たのか。八月の取組の成果が試される日です。じっとしちやあいられないと、後期始業式に披露した「西南算数伝説」垂れ幕を、五・

六年生から嫌でも見える中庭に垂らししました。それにもあきならず、急遽タスキを三枚作り、教頭と教務主任にも掛けさせて各学級を鼓舞して回りました。

算数に焦点化して校内研修に取り組んできました。結果は二月にわかります。



六年生保護者様

明日からいよいよ修学旅行です。旅行の様子は本校ホームページブログ上にアップします。ぜひご覧ください。一日三〜四回程度のアップを予定しています。